

NARO Research Prize 2012

営農支援活動で利用できる 「営農計画策定支援システムZ-BFM」

松本浩一、梅本 雅（中央農業総合研究センター 農業経営研究領域）、大石 亘（元 中央農業総合研究センター）

研究の目的・背景等

今日の営農支援活動では、具体的な営農計画案を提示し、担い手と対話しながら、より良い経営改善策を見出していくことが求められている。そこで、JA全農営農販売企画部と連携し、営農支援活動で利用できる「営農計画策定支援システムZ-BFM」を開発した。

研究の概要

Z-BFMは、様々な前提条件のもとで、農業所得を最大にする営農計画案の策定を支援するプログラムである。特に、営農支援活動ツールとして、入力の手間を減らし、複数の営農計画案の比較表示、結果のグラフ表示、提案書としての印刷、等の機能を持つ。さらに、経営指標作成支援プログラムで実態に即した経営指標の作成が簡易に行えらるとともに、データベースを利用して実績のない新規作物導入などによる経営改善案も検討できる。



梅本 雅

松本浩一

大石 亘

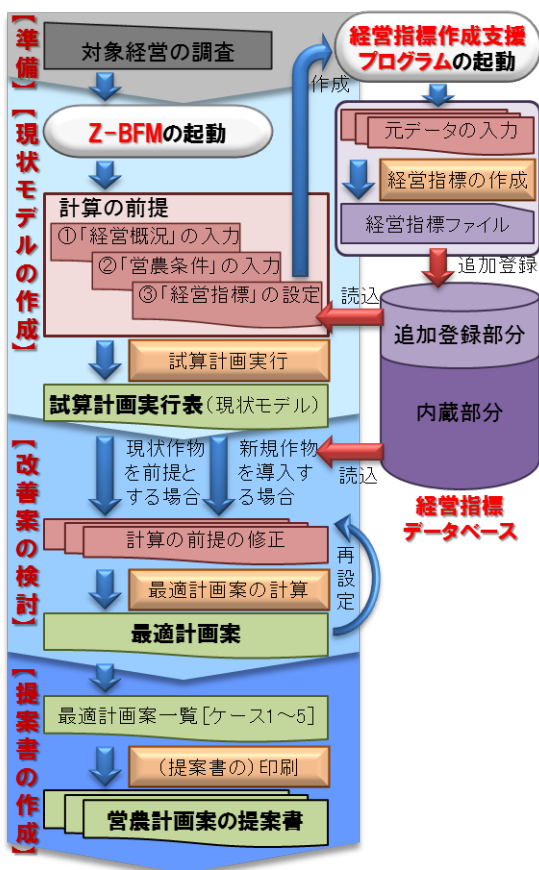


図 Z-BFMを活用した経営支援活動のフロー

